

2026年度

受講生募集

募集期間

2026.2月2日(月)～5月7日(木)



旅館マネジメント 専門家養成コース



 **生100年時代**
自分にできる学びは何だろう？

下関市立大学附属リカレント教育センターでは、2020年6月から社会人を対象とした授業が開講されています。社会人として人生経験を積んだ今だからこそ、経験から得られた自信について「何かしらの確信が欲しい」あなたや、経験則に「自分なりの答えを求めている」あなた。どのような理由でも、誰でも学べます。また、2022年度からは初の産学連携により日本旅館協会との協働カリキュラムが実現しました。人生に迷ったら、何度でも学びなおせばいい！それがリカレント教育です。

公立大学法人
 下関市立大学



 日本旅館協会

<2つの受講体制と履修証明プログラム>

リカレント教育センターでは、社会人等を対象に体系的な編成の学習プログラムを提供し、終了時に学校教育法に基づき履修証明書の交付を行う履修証明プログラムを開講しています。

※学位の授与ではなく、また本学では単位としての認定はありません。

① 履修生

履修証明プログラムで60時間以上しっかり学び、参加状況や課題などの修了判定により履修証明書を交付します。

② 聴講生

講義全てを受講することが難しいという理由で学びをあきらめたくない方、履修証明プログラムの条件に当てはまらなくても学びたい人が誰でも学べる制度。

受けた講義について必要な方のみ受講証明書を発行します。

受講生募集・リカレント教育センターに関するお問い合わせ

下関市立大学附属リカレント教育センター TEL.083-250-6162 (リカレント教育センター直通)

〒751-8510 山口県下関市大学町二丁目1番1号 <URL><https://www.shimonosekicu.ac.jp/recurrent/>

詳細は、下関市立大学附属リカレント教育センターのホームページをご参照下さい。



**旅館って
どんな仕事だっけ。
学び直そう！**


**受講生
募集中**

オンライン&対面
ハイブリット講義
完全対応！

履歴書に書ける
履修証明プログラム

チェックイン・
チェックアウトを
避けた
時間帯で開講！

キャリアにつながる
充実した10か月間の
継続学習！
(年間60時間で受講料6万円)

受講期間	受講料	募集 人数	開始日/ 終了予定日	開催日程概要/ 開講時間
10か月	履修生 60,000円 (60時間) 聴講生 1,500円 (1講義：90分あたり)	20名程度 (最低開講人数：3名)	2026年6月2日(火) ～2027年3月16日(火) <small>※日程は変更になる場合もございます。</small>	月2回程度の 火曜日開催 1コマ目 11:00～12:30 2コマ目 13:15～14:45

※講義スケジュールはホームページに公開します。

履修資格 履修生は下関市立大学学則第18条の規定に準じます。聴講生は高校生以上です。

申込期間 2026年2月2日(月)～2026年5月7日(木) * 必着

申込方法 ホームページから募集要項及び申請書様式をダウンロードして簡易書留で提出してください。

手続き ①受講生には、受講料を納付書を送付します。同封の案内に従って納付書に記載された期日までに納付してください。
②期日内に受講料の納付が確認された方のみ受講を許可し、受講案内等を送付します。

手続に関する注意


- ・いったん受理した書類及び納入された受講料は、受講生の自己都合による返却及び返金はできません。
- ・提出書類に虚偽の記載があった場合、受講の資格を失います。なお、書類不備の場合は受付できません。

旅館マネジメント専門家養成コース 開講内容

※順序や内容等、入れ替わる可能性があります

- ・ガイダンス
- ・人生100年時代の学び方
- ・変化の激しい時代における人材教育の必要性
- ・ソーシャルキャピタルとしての旅館①
- ・ソーシャルキャピタルとしての旅館②
- ・シェアサービスの社会と旅館①
- ・シェアサービスの社会と旅館②
- ・旅館組織の特徴と採用
- ・旅館の歴史①
- ・旅館の歴史②
- ・ホテルの歴史①
- ・ホテルの歴史②
- ・ホテル組織の特徴と採用
- ・海外の人材育成の状況と日本との比較
- ・海外の観光宿泊特化型の状況
- ・組織論①リーダーシップの種類と変遷
- ・組織論②リーダーシップの種類と変遷
- ・自己理解とマネジメント①自分の才能を発揮するには
- ・自己理解とマネジメント②自分の殻を破るには
- ・自己理解とマネジメント③怒りから見える自己理解
- ・他者理解とマネジメント①他者を理解するための哲学
- ・他者理解とマネジメント②他者理解をすることの意味
- ・他者理解とマネジメント③他者を理解するための話し方・考え方
- ・他者理解とマネジメント④ダイバーシティの理解
- ・共感のマネジメント①最高のチームをつくるには
- ・共感のマネジメント②共感を高める関係性の構築
- ・共感のマネジメント③組織の中での役割と地位の重要性
- ・データサイエンス時代のマネジメント①
- ・データサイエンス時代のマネジメント②
- ・伝わるプレゼン・伝わるデザイン
- ・旅館とメディア、SNS活用について
- ・旅館運営に必要な法規(消防法、風営法、建築基準法等)
- ・旅館における人事戦略(就業規則、労働法規、人事考課)
- ・旅館が備えるべき災害対応、事業継続計画(BCP)
- ・旅館に求められる計数管理(原価、コスト、財務諸表)
- ・旅館が作る事業計画とは
- ・旅館が取り組むべきSDGs①(持続化、伝統と文化)
- ・旅館が取り組むべきSDGs②(労働環境、多様性)
- ・旅館に求められるインバウンド対応
- ・旅館と事業承継(所有/経営/運営の原則)

遠方からでも
受講OK!




A様：このような授業を受ける機会がこれまでありませんでしたので、現在教える立場にある方、これから教える立場になる方、年齢や経歴など関係なく、様々な方に広まって欲しいと思いますので、ぜひ今後とも続けて欲しいです。

B様：経験や感覚的な教育を受けることが大半の為、このような教育を受ける場面は貴重です。教育する立場にある者へ伝えたい。